

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		小学校ICT教育環境整備推進事業						予算事業名		小学校管理経費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分								
				10	02	01	0501	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文							事業の区分	主要事業						
		4-1生きる力を育む教育環境づくり (学校教育)								重点事業						
		①教育内容の充実							担当課係等	学校教育課						
事業期間		継続 (平成29年度～ 年度)								施設係						
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
・各学校及び教室等が高速な通信回線で結ばれ、ネットワークを活用した学習を行うことで、従来の学校教育では実現できなかった広がりをもった教育を実現する。ICTが有する拡大、動画配信、音声朗読等の機能を教員が活用することにより、授業内容を分かりやすく説明する。								文部科学省主導による「教育のICT化に向けた環境整備5ヶ年計画」の実現。								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
・学校ネットワーク機器賃借 (H28～R3) R3 機器更改 (全9校) ・普通教室無線LAN整備 (H29～) H29 結城小 (賃借：R4まで) R2 無線LAN整備 (結城小を除く8校) ※GIGAスクール対応 R3 結城小 (実施設計委託) R4 結城小機器更改 ・ICT支援員配置委託 (R3～) 全9校 授業計画の作成支援, ICT機器の準備操作支援, メンテナンス支援 研修支援等 (3校に1名程度配置) ・特別教室, 体育館等への校内無線LAN整備検討 (R5～)								児童及び教職員								
								【事業をとりまく環境の変化】								
								R1.12に国からの提案「GIGAスクール構想」の早期実現を目指し、児童生徒1人1台端末整備を前提とした高速大容量の通信ネットワークの整備を実施。								
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】								
学校ネットワーク機器更改, 賃借 ・小学校9校 普通教室無線LAN ・結城小 (機器賃借, 実施設計委託) ICT支援員配置委託 (全9校)				学校ネットワーク機器賃借 ・小学校9校 普通教室無線LAN ・結城小 (機器更改) ICT支援員配置委託 (全9校)				学校ネットワーク機器賃借 ・小学校9校 ICT支援員配置委託 (全9校) 特別教室, 体育館等への校内無線LAN整備検討								
■事業費																
				R01年度		R02年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	27,251									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	49,200									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	3,712	4,598									
歳入計 (千円)				3,712		81,049										
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)			金額 (千円)		金額 (千円)										
	13 使用料及び賃借料			3,712		3,719										
	14 工事請負費			0		77,330										
歳出計 (千円) (A)				3,712		81,049										
伸び率 (%)						2,083.43										
備考	総合計画115ページ 予算書160ページ															

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	普通教室無線LAN整備校数	校	目標	1.00	8.00	0.00
	タブレットや教職員用ノートパソコンをインターネットに接続した授業を展開		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	教育環境整備のために必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	セキュリティ対策、情報の保守管理の面より、行政以外には実施できない。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	現状においては一般的な手法で進められているが、今後は国の提案する「GIGAスクール構想」に準じた規格で整備するため、手段の見直しも視野に入れる必要である。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	担当者はICTの専門的知識を要し、また、市情報管理担当部門との協議や連携が必要であるため、人員不足と感ずる。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	計画に基づき実施している事業ではあるが、整備時期の違いにより、規格や性能、運用方法に偏りが見られる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	1人1台の端末整備が進められることにより、通信ネットワーク環境の向上が強く求められている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	現状では遅れが見られるが、令和2年度に国庫補助金を活用し、事業進捗の加速が予想される。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
ICT教育環境の整備については、国の政策でもあり、今後積極的な推進を図る必要がある。事業を進める上で、限りある財源の中で整備する手法やランニングコストの縮減に努めなければならない。また、授業において教職員の指導力及びスキル向上を図るため、総合的な支援も必要となってくる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
令和2年度に国の提案する「GIGAスクール構想」の早期実現に向けて、国庫補助金を活用し、整備済みの結城小学校を除く8校の整備を実施する。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
方向性の具体的内容 GIGAスクール構想により一人1台のタブレットは整備されるが、今後はタブレットの活用方法や児童の資質・能力を一層確実に育成できるICT環境を実現するために、支援員の配置、教員の研修等を検討する。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） □拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ■改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	